



毎日、発明する会社

2018年4月期

第3四半期 決算説明資料

フリービット株式会社

2018年3月9日

1. 2018年4月期 第3四半期 連結業績 . . . 3
2. 2018年4月期 第3四半期 セグメント別業績及び事業進捗 . . . 19
3. 2018年4月期 連結業績進捗 . . . 31

資料内略称について

略称	社名及び説明
FB	フリービット(株)=当社
FBG	フリービットグループ
DTI	(株)ドリーム・トレイン・インターネット=完全子会社
FBEPH	(株)フリービットEPARKヘルスケア=子会社
FIV	フリービットインベストメント(株)=完全子会社
IJK	(株)医療情報基盤=完全子会社
TM	トーンモバイル(株)=持分法適用関連会社
FS	(株)フルスピード=東証マザーズ上場の子会社
FSG	フルスピードグループ
FI	(株)フォーイット=(株)フルスピードの完全子会社
CB	(株)カームボールド=(株)フルスピードの完全子会社
GP	(株)ギガプライズ=名証セントレックス上場の子会社
GPG	ギガプライズグループ
FM	(株)フォーメンバーズ=(株)ギガプライズの子会社
ESP	旧(株)ESP。現在はGPが吸収合併

略称	セグメント名
BB	ブロードバンド事業
MB	モバイル事業
AD	アドテクノロジー事業
CL	クラウド事業
HT	ヘルステック事業
ETC	その他

1. 2018年4月期 第3四半期 連結業績

2018年4月期 第3四半期 連結業績

(単位：百万円)	18年04期 第3四半期	17年04期 第3四半期	増減額	増減率
売上高	28,854	27,180	+1,673	+6.2%
EBITDA	2,005	2,222	△217	△9.8%
営業利益	966	1,384	△418	△30.2%
経常利益	516	1,073	△557	△51.9%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△ 724	252	△977	—
1株当たり純利益	△ 32円65銭	11円37銭	△44円02銭	—

**2018年4月期第3四半期連結業績は、前年同期比で売上高6.2%増
注力事業への先行投資により、営業利益30.2%減**

- ・売上高：マンションインターネット及び新規事業の開始により増収
- ・営業利益：ヘルステック事業先行投資等により減
- ・経常利益：営業利益減少及び持分法による投資損失により減
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益：経常利益減少及び減損損失により減



連結業績

- ・売上高、営業利益ともに計画通り進捗
- ・マンションインターネットは増収増益を継続、関連サービスの拡充に向けて積極的に業務提携及び投資を実施
- ・ヘルステック事業は1Q、2Qで投資フェーズを終了。ヘルステック事業及びマンションインターネット事業の売上増加に伴い、会計期間の営業利益は前四半期 (2Q) 比205.2%増を達成



ブロードバンド事業

- ・マンションインターネット及び光コラボ施策が堅調に推移し前年同期比で増収増益



アドテクノロジー事業

- ・中核であるフルスピードグループの独自プロダクト「ADMATRIX DSP」「afb」の事業拡張が牽引し、増収増益を達成



ヘルステック事業

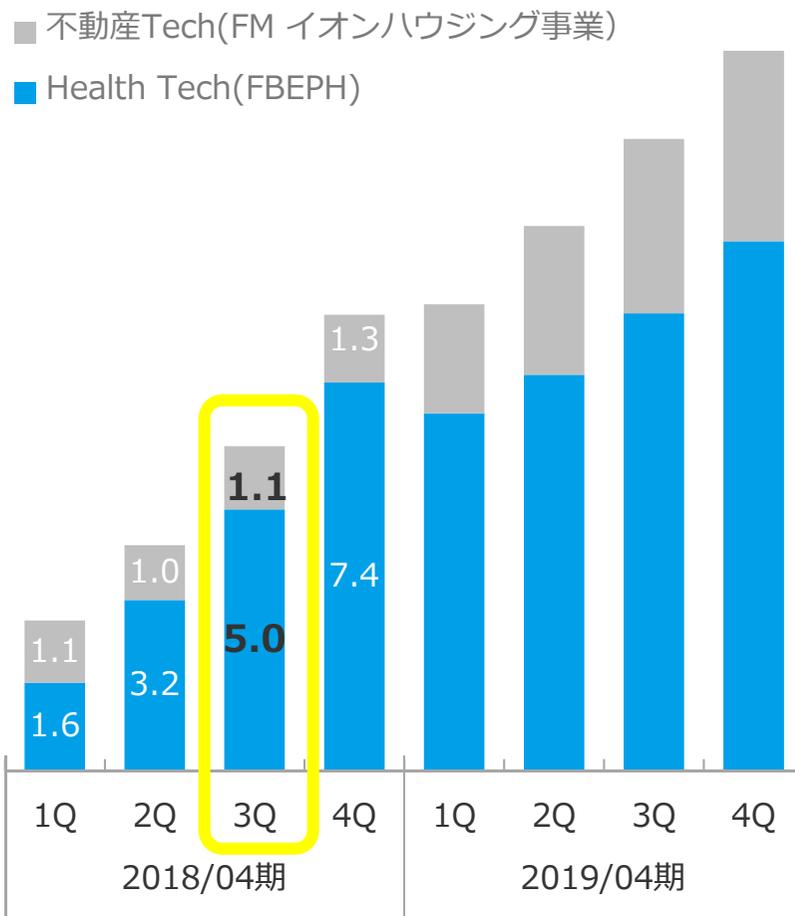
- ・事業開始以降、売上高は順調に推移。フリービットEPARKヘルスケアは、当連結会計期間(3Q)において単月黒字化を達成

注力事業への投資実績と今後の見通し

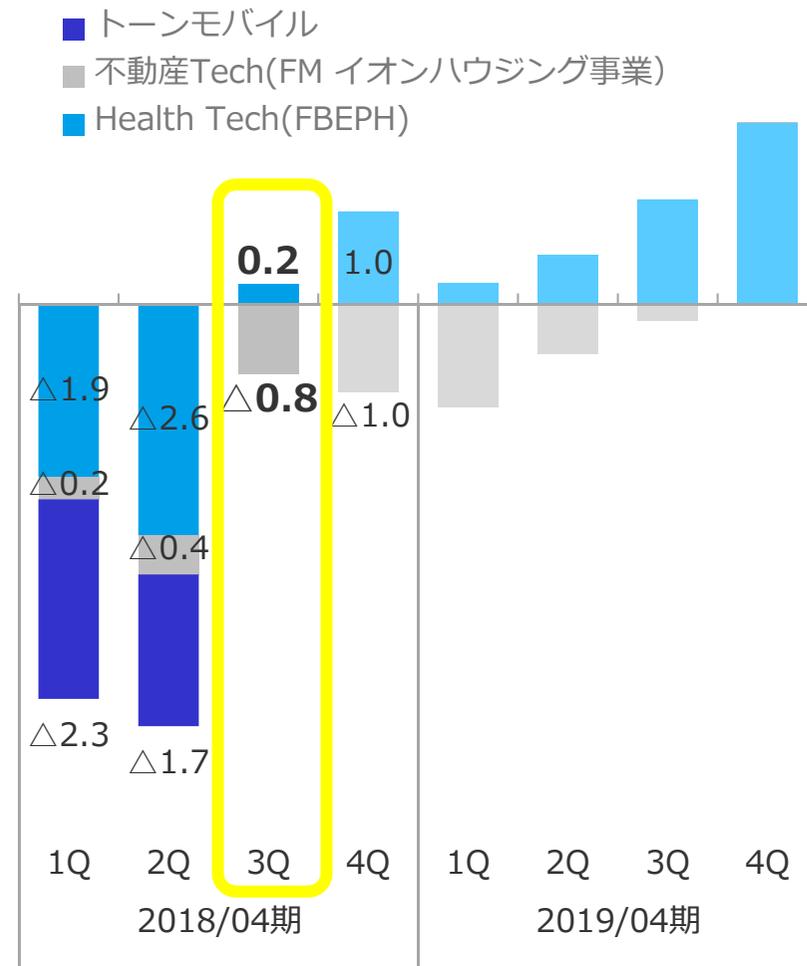
ヘルステックについては黒字転換を達成。来期に向けて増収増益基調となる見通し

(単位：億円)

売上高に与える影響額

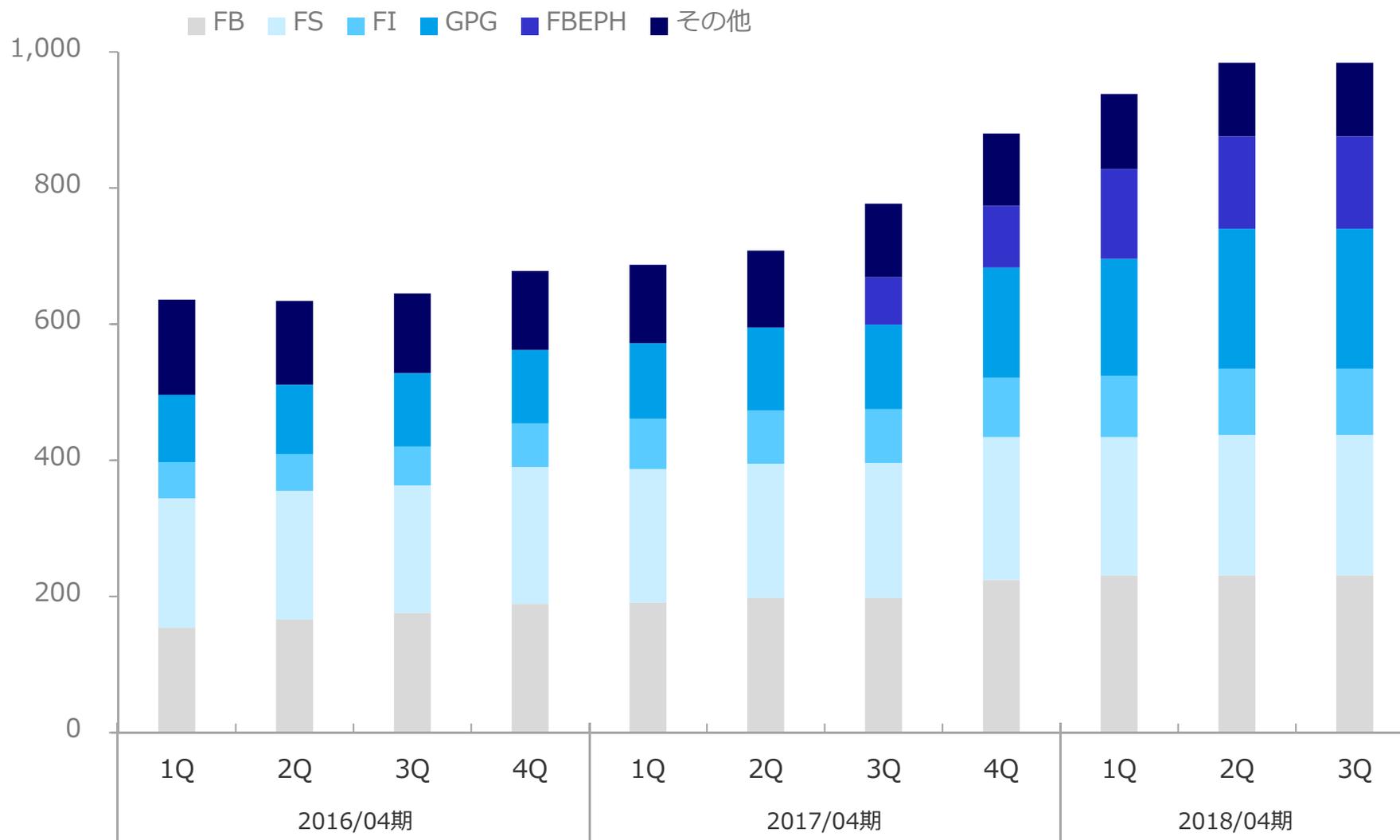


利益に与える影響額



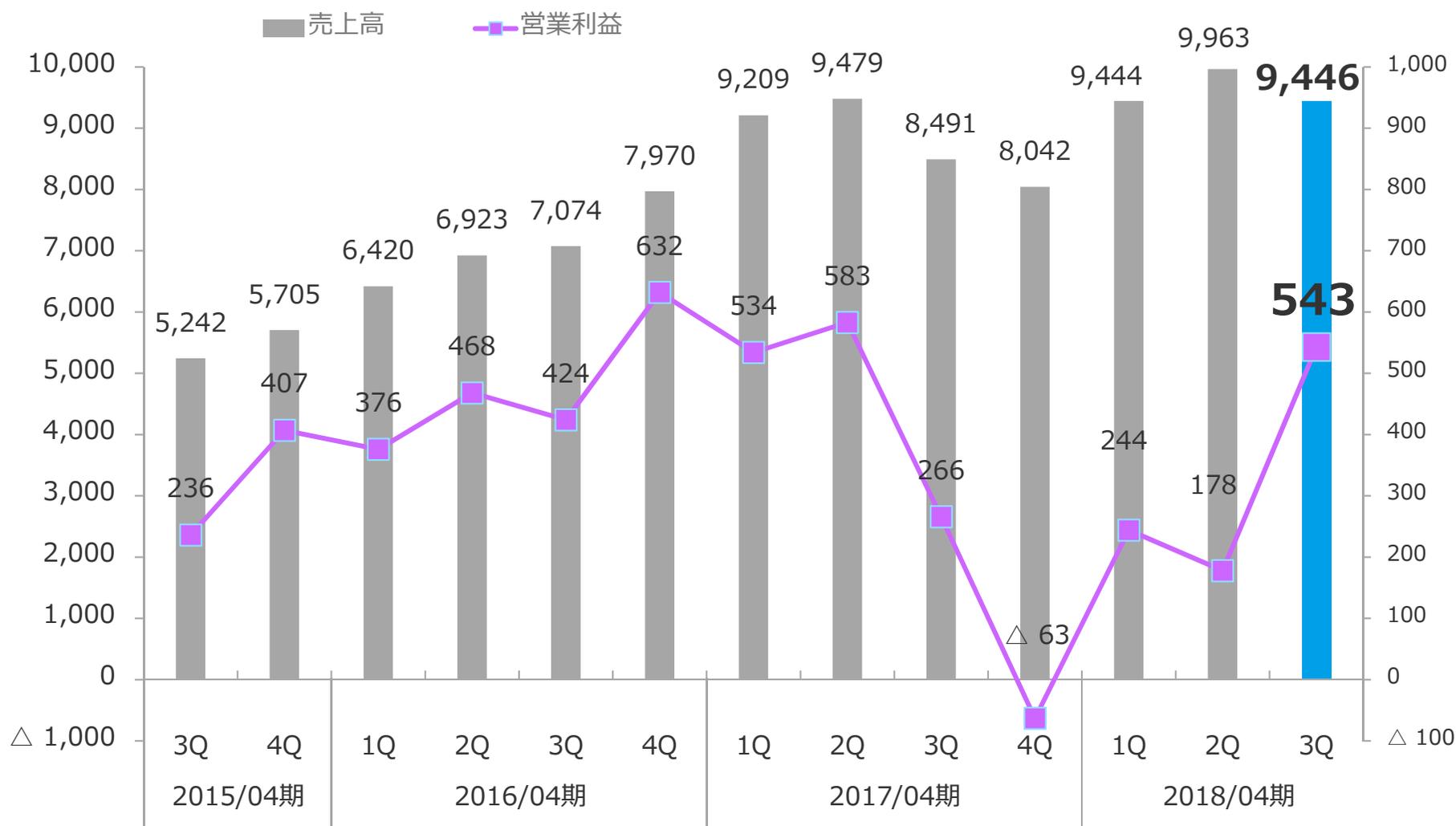
事業拡大により人員体制強化を実施

(単位：人)

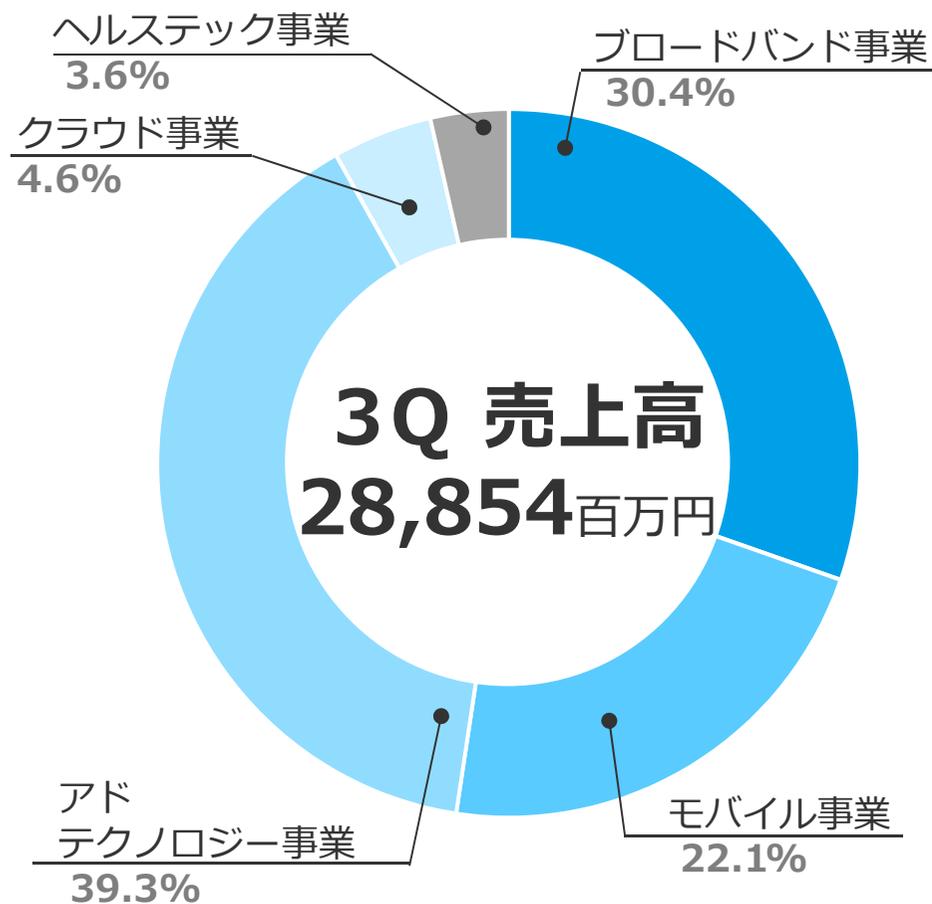


前四半期比205.2%増の営業利益を達成

(単位：百万円)



ブロードバンド事業・アドテクノロジー事業が増収を牽引



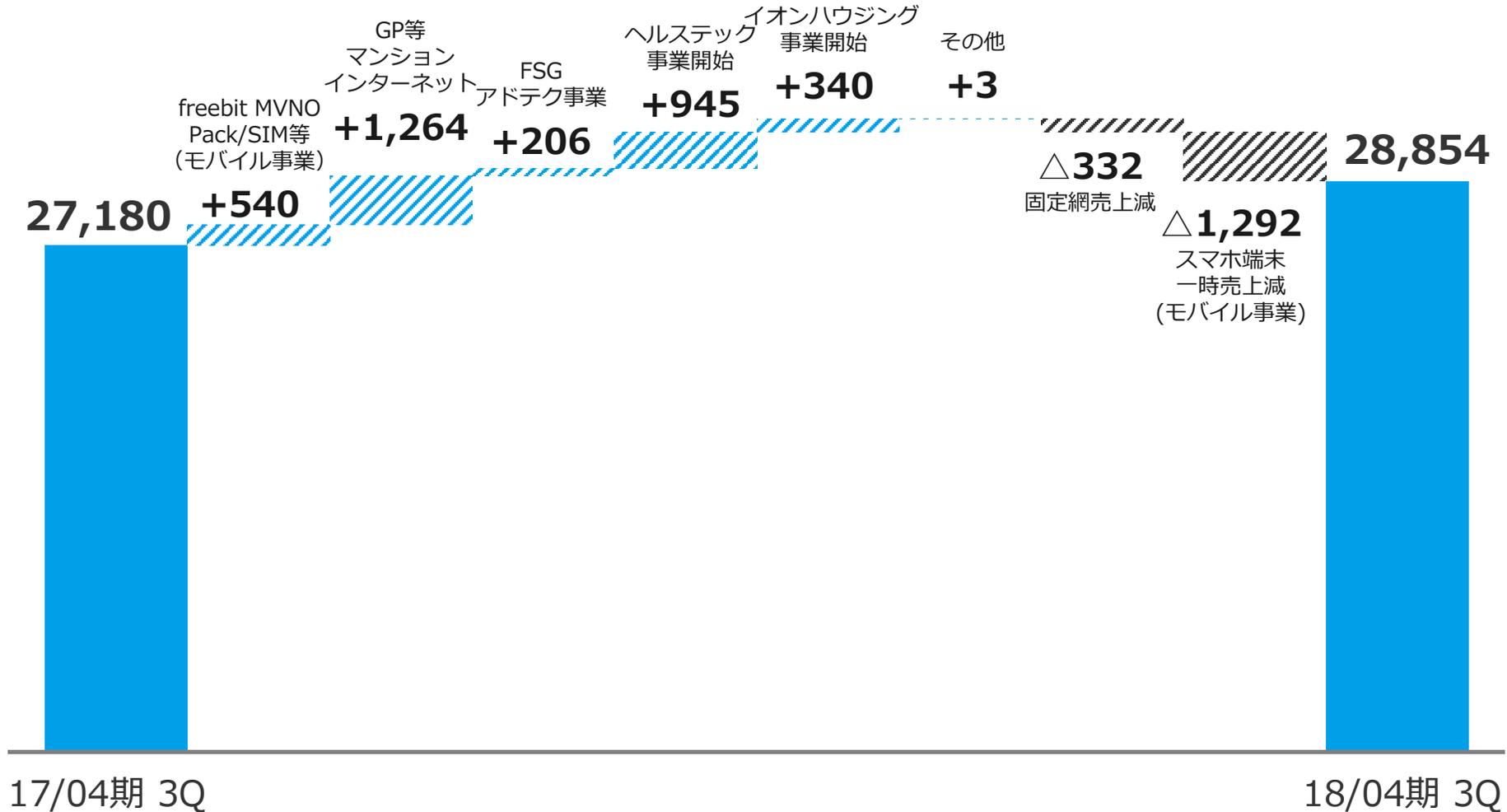
売上高	セグメント損益
ブロードバンド事業	
8,836 百万円 YoY +18.8%	1,441 百万円 YoY +16.2%
モバイル事業	
6,405 百万円 YoY Δ 10.5%	Δ 418 百万円 YoY Δ 230百万円
アドテクノロジー事業	
11,402 百万円 YoY +1.9%	1,010 百万円 YoY +11.7%
クラウド事業	
1,332 百万円 YoY Δ 11.9%	Δ 2百万円 YoY Δ 161百万円
ヘルステック事業	
1,051 百万円	Δ 511百万円

※ヘルステック事業については、事業開始が前第3四半期のため、前年同期（累計）との比較は省略

前年同期比差異分析 売上高

freebit MVNO Pack、マンションインターネットの堅調な推移とヘルステック事業開始により前年同期比6.2%増となり計画通り進捗

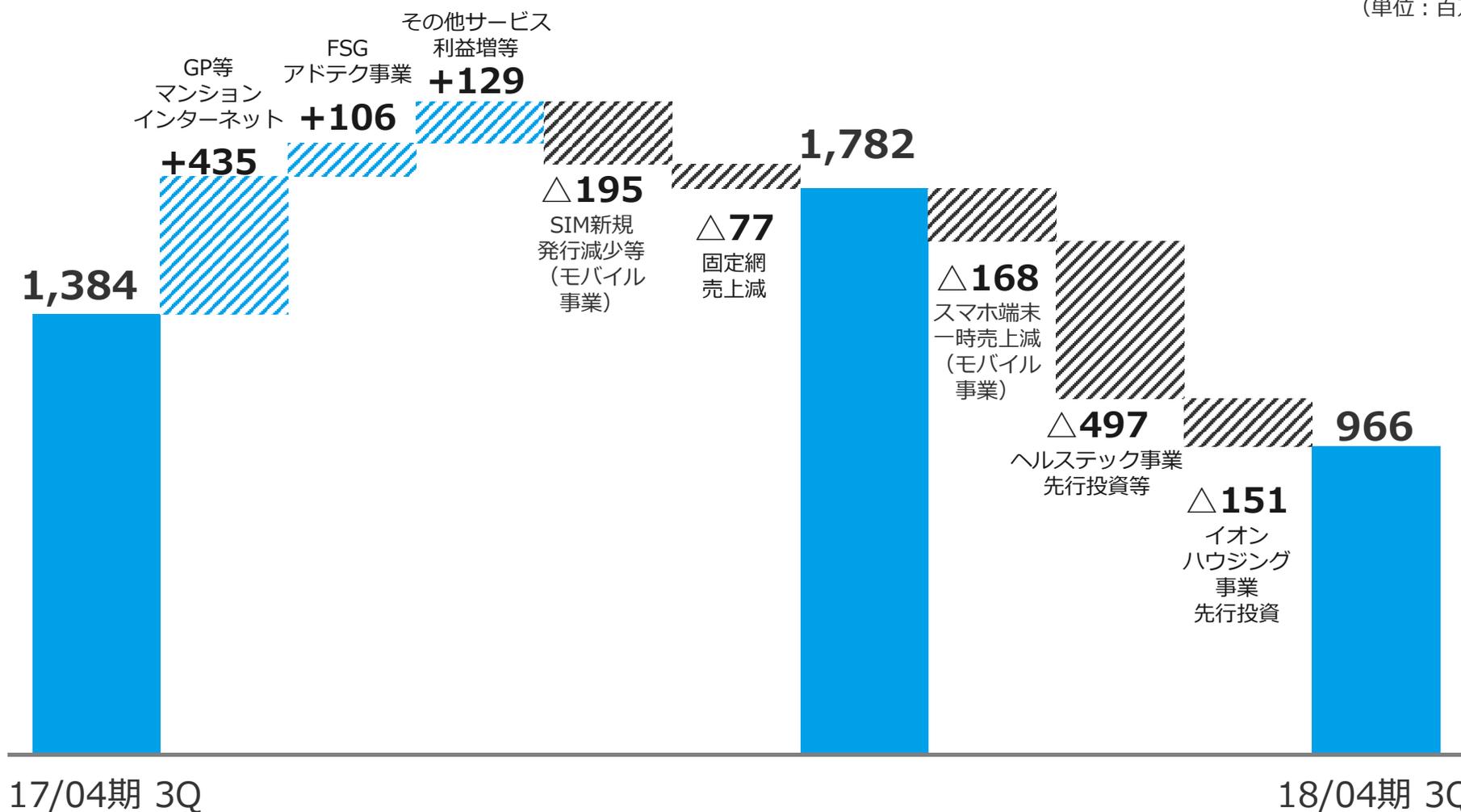
(単位：百万円)



前年同期比差異分析 営業利益

売上高に連動してベース利益は増加。ヘルステック等の注力事業への投資により前年同期比30.2%減となったが進捗は計画通り

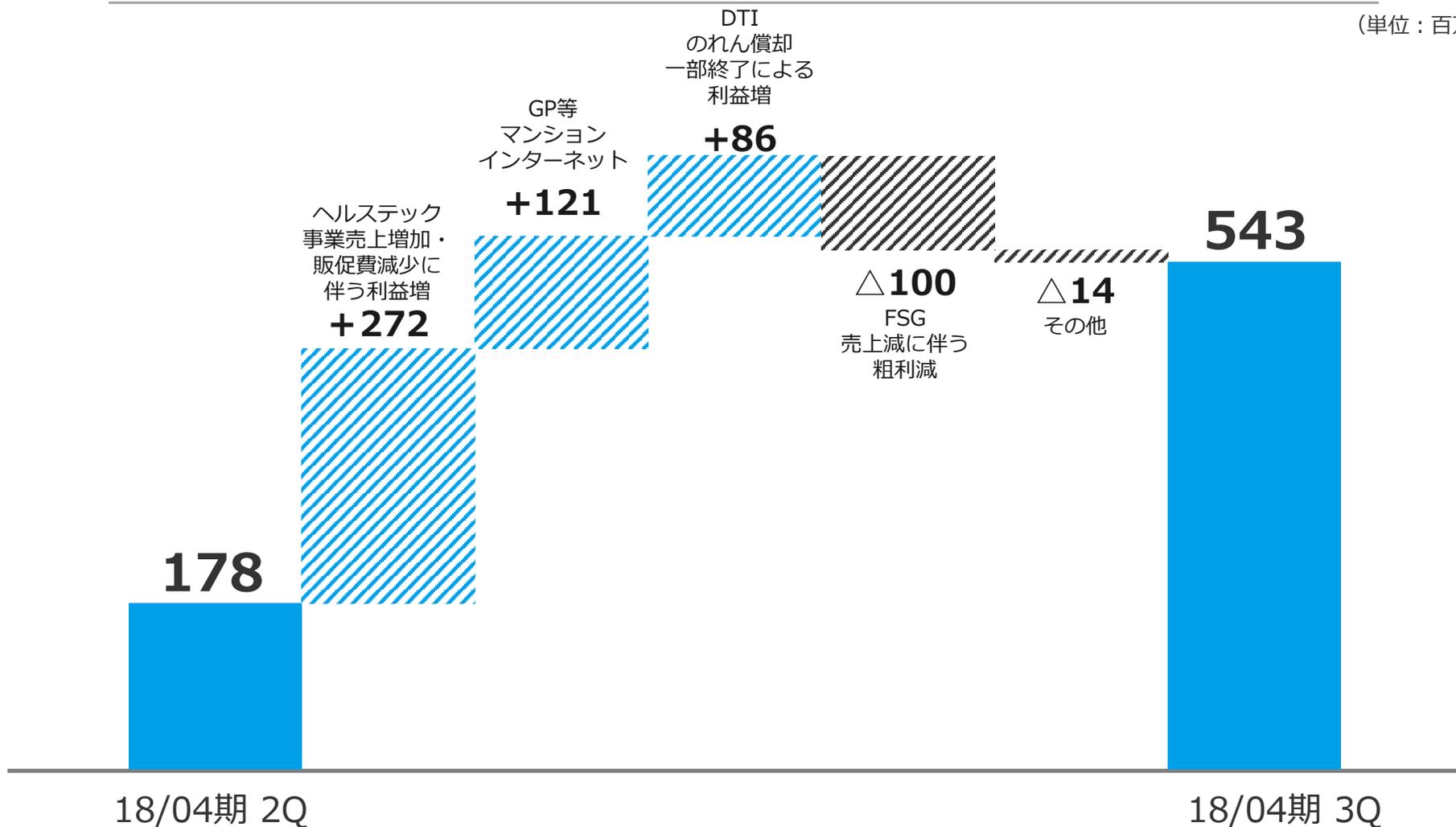
(単位：百万円)



前四半期(2Q)比差異分析 営業利益

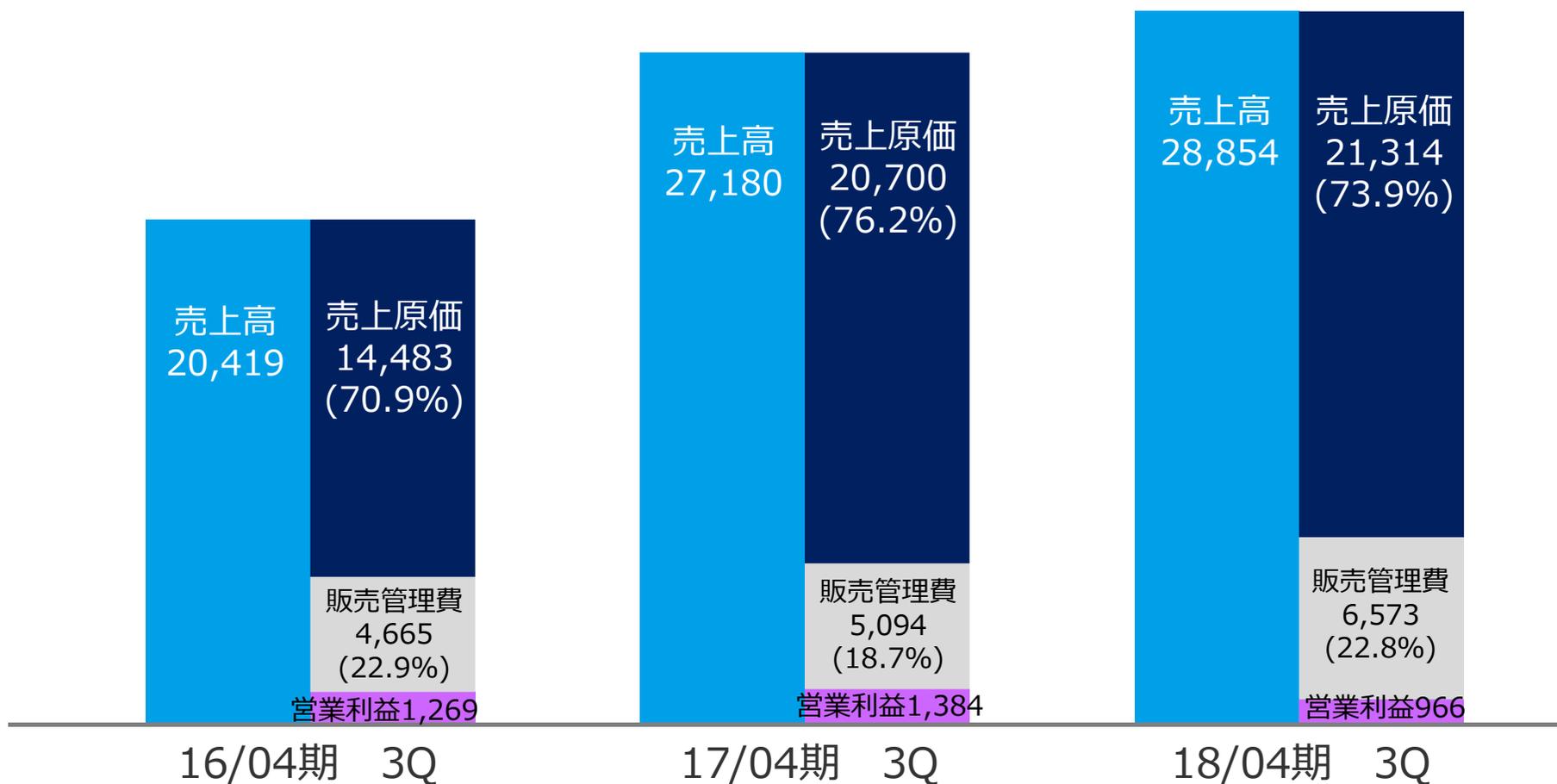
ヘルステック事業及びマンションインターネット売上増加に伴い
前四半期(2Q)比205.2%増を達成

(単位：百万円)



注力事業への投資により販売管理費が増加するも**売上総利益が16.4%増(10.6億円増)**となり投資効果が現れつつある

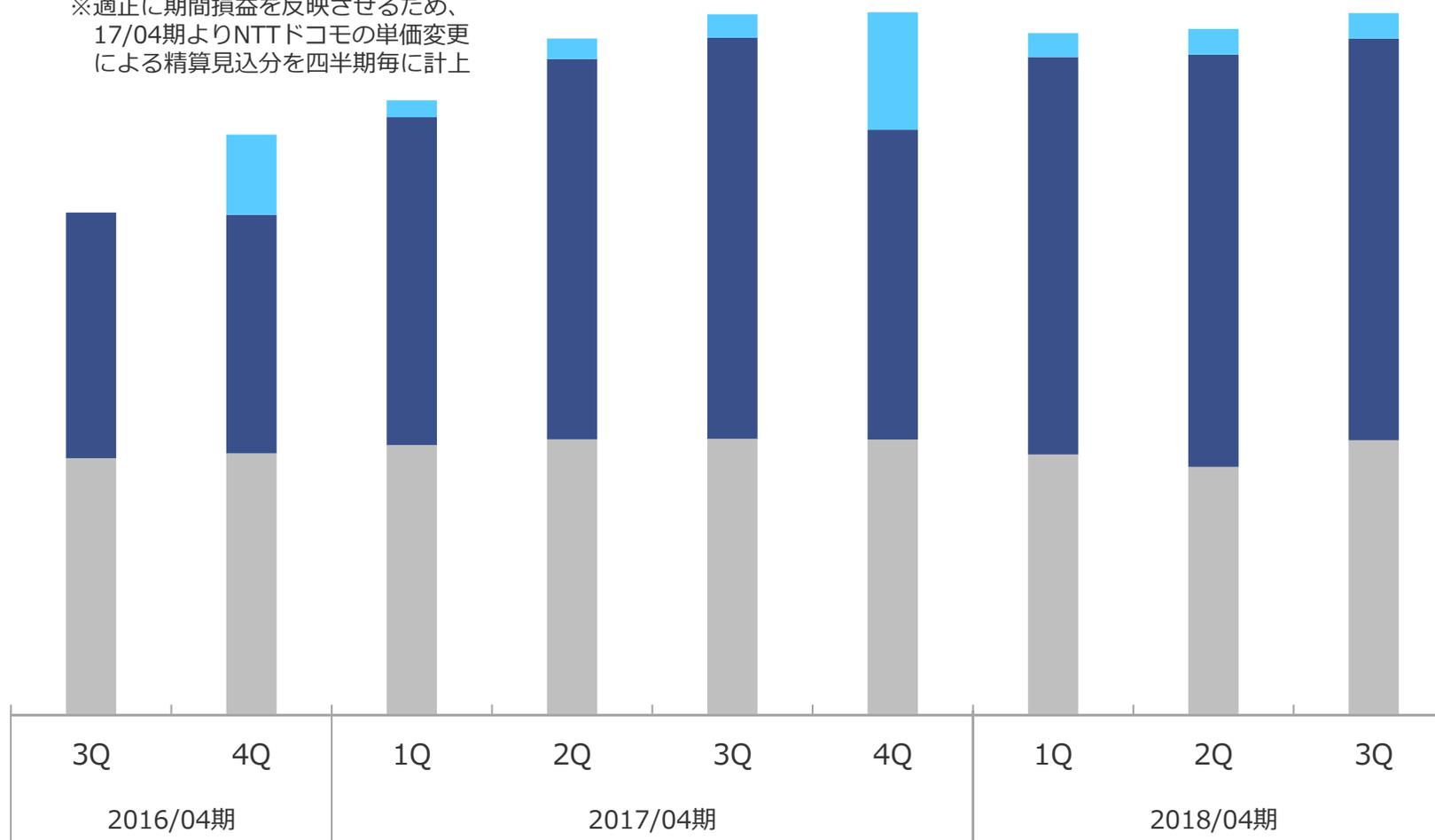
(単位：百万円)



ネットワーク関連費用推移

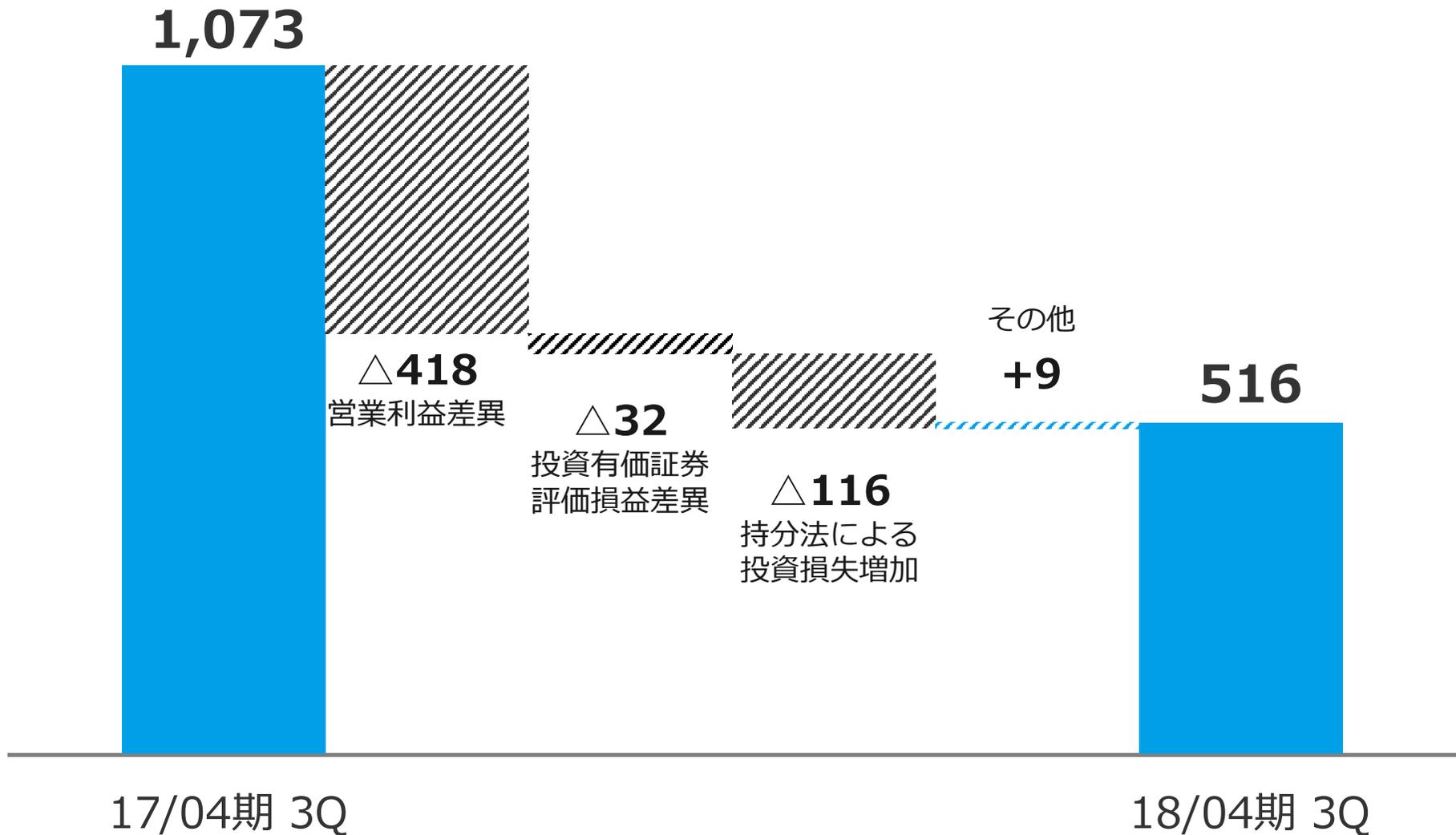
- 固定網
- モバイル
- NTTドコモの単価変更による精算分

※適正に期間損益を反映させるため、
17/04期よりNTTドコモの単価変更
による精算見込分を四半期毎に計上



営業利益減少等により、前年同期比557百万円減少

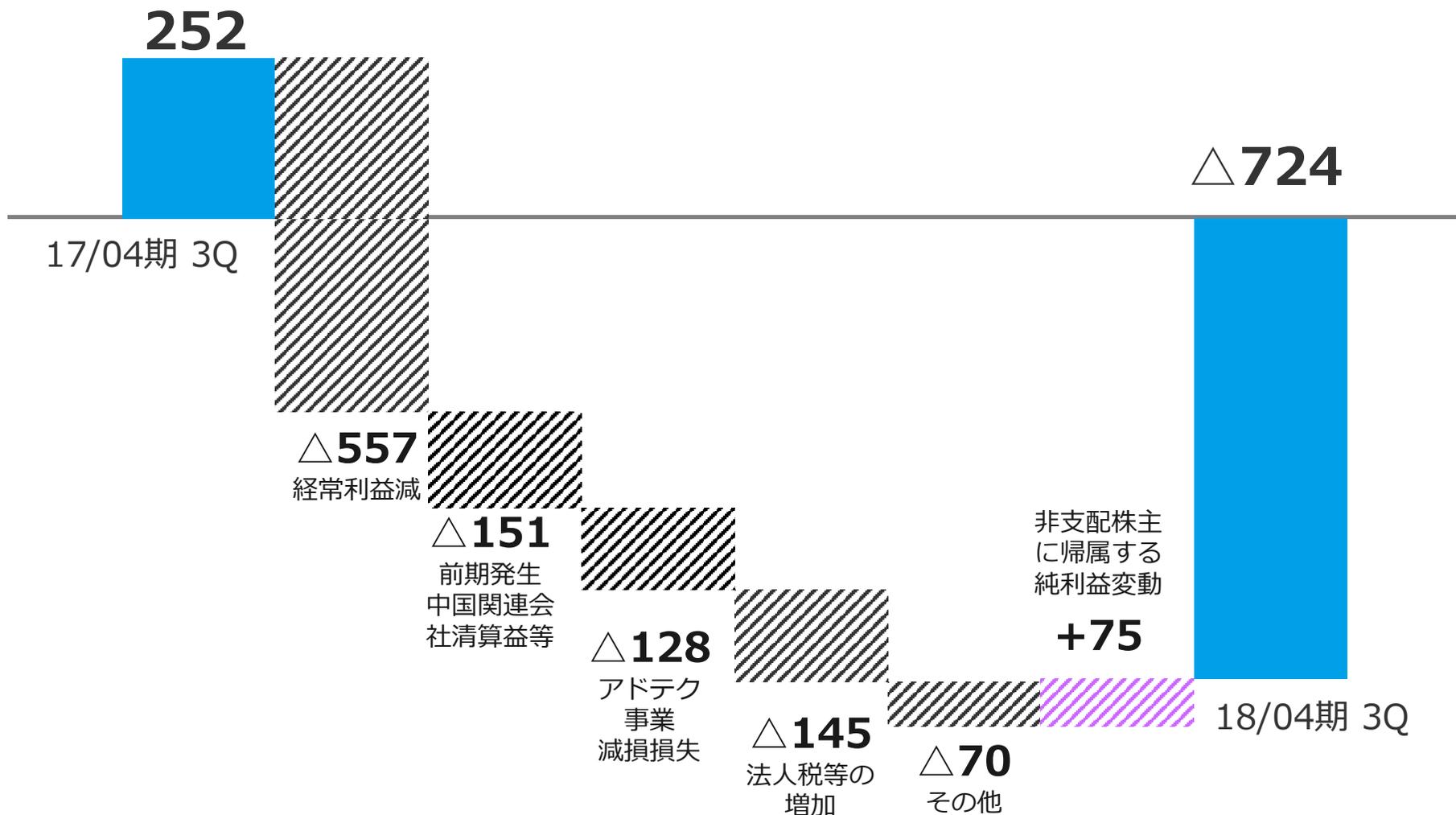
(単位：百万円)



前年同期比差異分析 親会社株主に帰属する四半期純利益

経常利益減少やその他一時要因等により、前年同期比977百万円減少

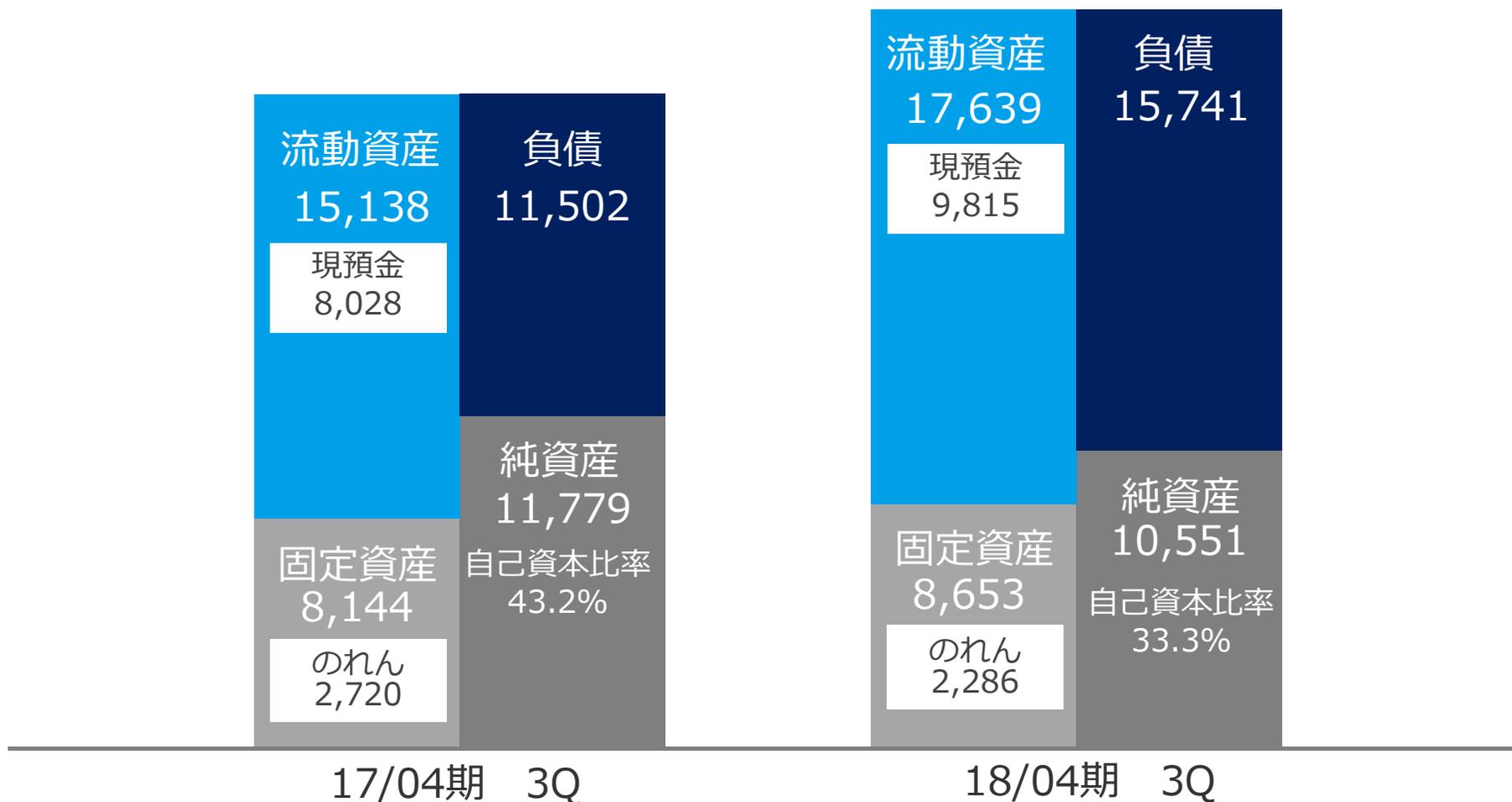
(単位：百万円)



現預金22.3%増、のれん15.9%減、純資産10.4%減

低金利下であることから、手元資金の強化を目的に借入れを行う方針

(単位：百万円)



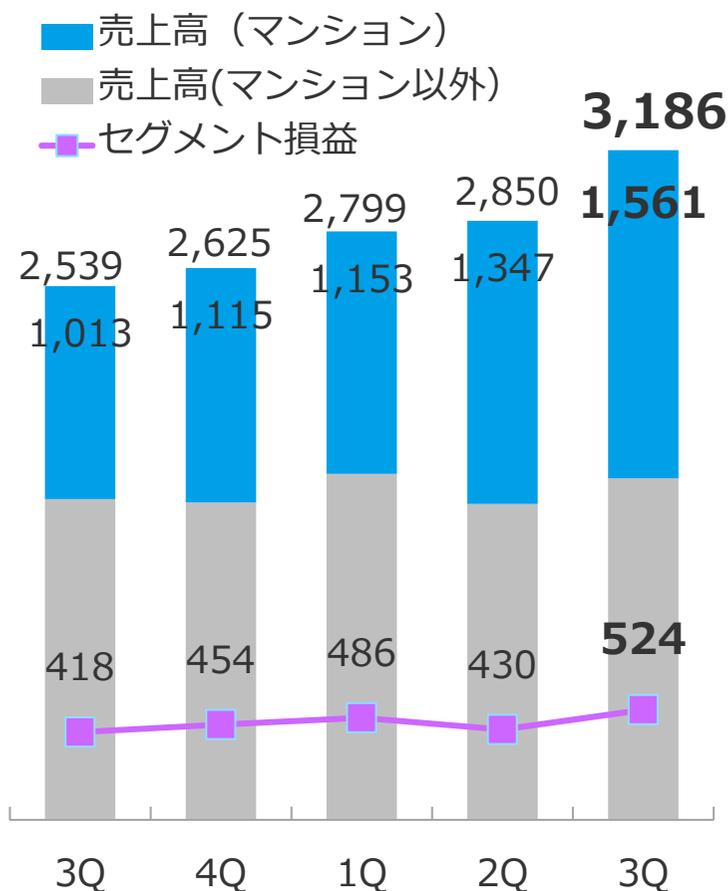
2. 2018年4月期 第3四半期 セグメント別業績及び事業進捗

前年同期比 売上高18.8%増、セグメント損益16.2%増

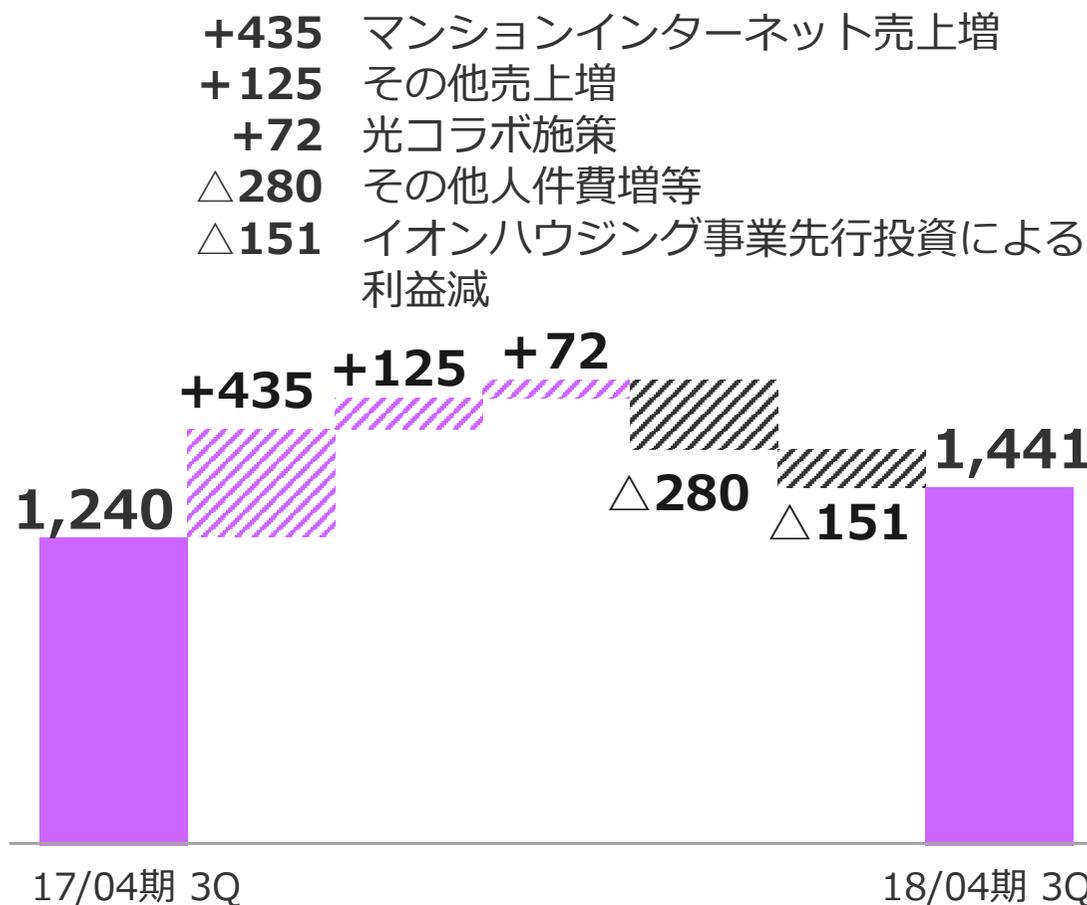
マンションインターネット及び光コラボ施策が堅調に推移し増収増益

(単位：百万円)

売上高・セグメント損益

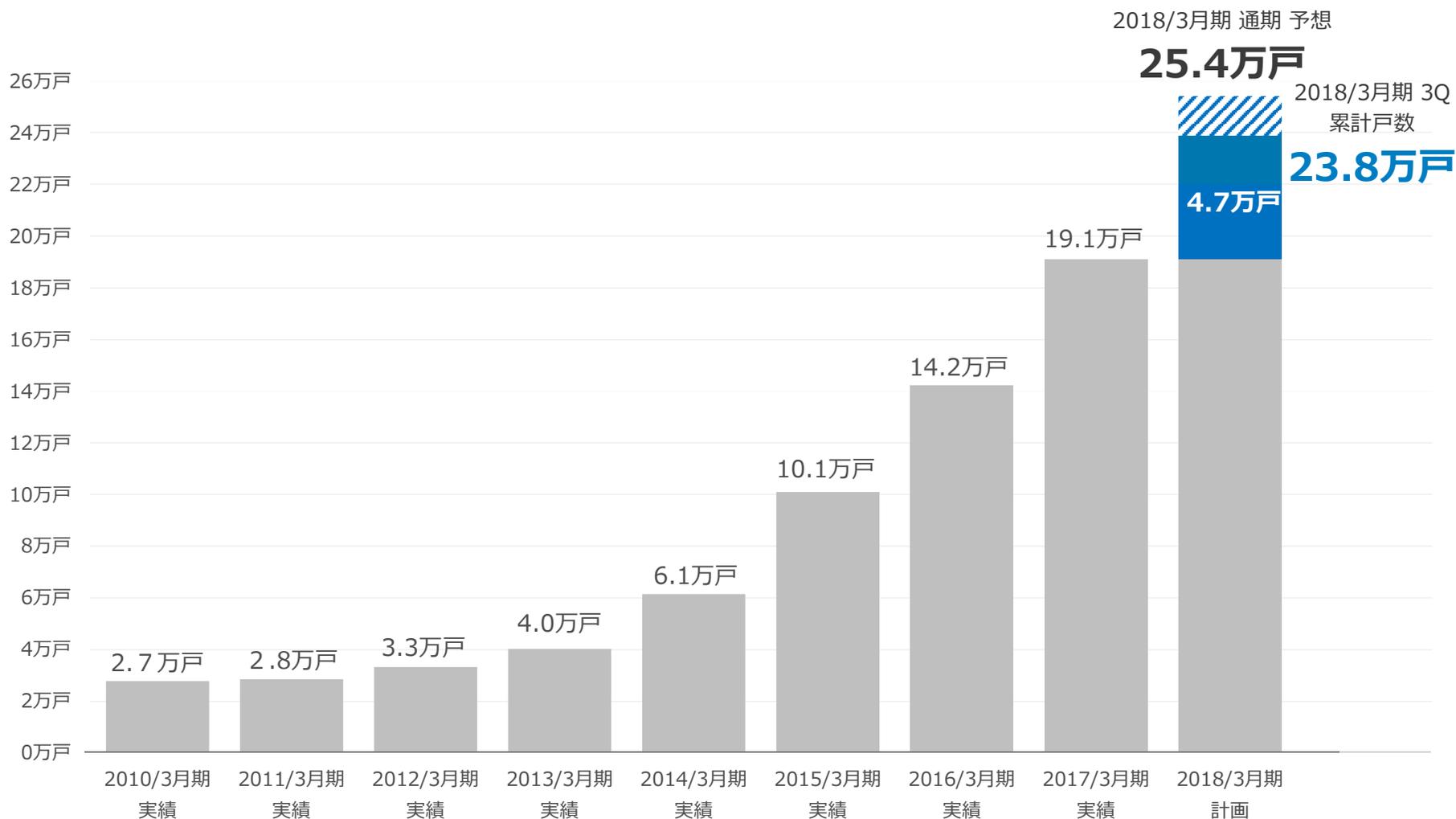


セグメント損益前年同期比差異分析



前年同期比 +23.7% の4.7万戸増加を達成(前期3Q実績 3.8万戸)

当期予想 25.4万戸に向けて順調に推移



不動産TechのIoT戦略に向けて、戦略的に資本業務提携を実施

■ 11月27日プレスリリース：株式会社ユーエムイーと資本業務提携契約を締結

株式会社ユーエムイーとスケールメリットを活かした集合住宅向けISP事業のさらなる推進及び人々の暮らしをより快適で豊かにする住まいに関するサービスの創出を目的に、資本業務提携契約を締結

■ 3月8日プレスリリース：IoTプラットフォームサービスを今春提供開始

2017年5月に業務提携契約を締結した株式会社Live Smartの「LiveSmart」と株式会社ユーエムイーのネットワークを利用した遠隔操作スマートロック「LINKEY」を併せたIoTプラットフォームサービスの初の案件として、企業間取引（BtoB）での提供を今春開始

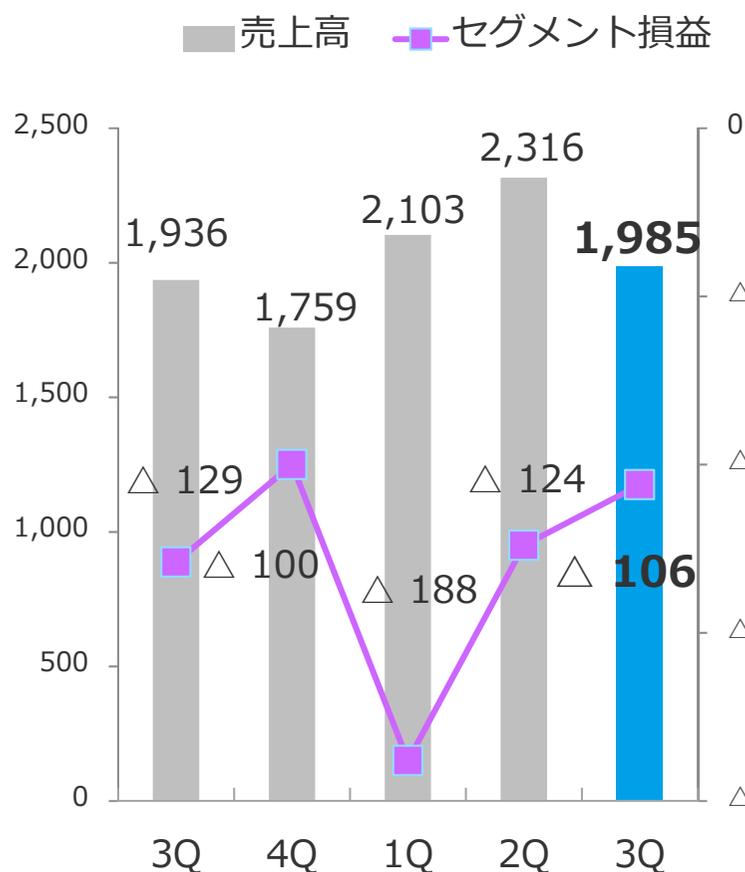


前期の一時的増益要因であるスマホ端末売上の減少等により減益

IP電話サービスが収益に貢献

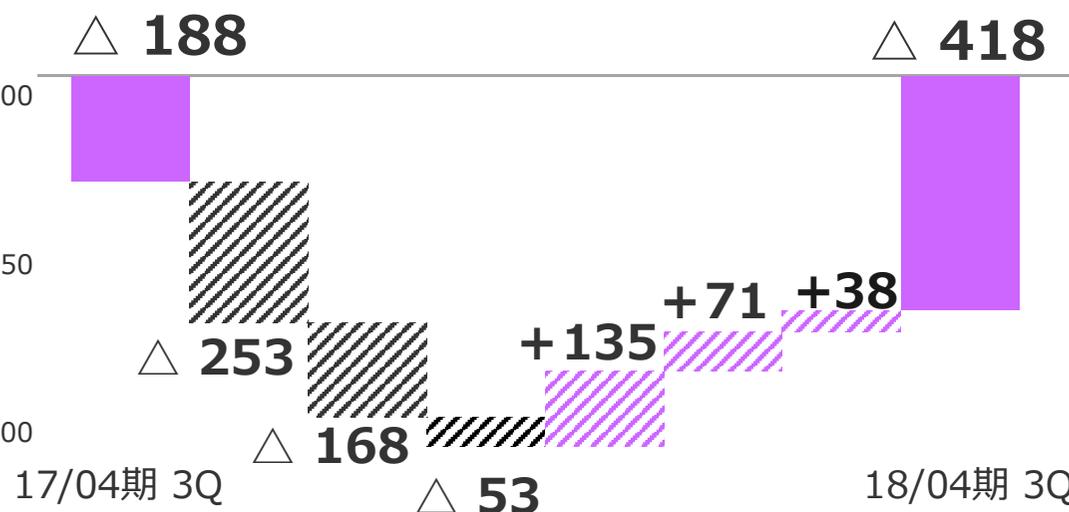
(単位：百万円)

売上高・セグメント損益



セグメント損益前年同期比差異分析

- △253 SIM発行手数料減等
- △168 スマホ端末売上減等
- △53 配賦費用増
- +135 IP電話サービス利益増
- +71 DTI SIM粗利増等
- +38 販促費抑制等による利益増

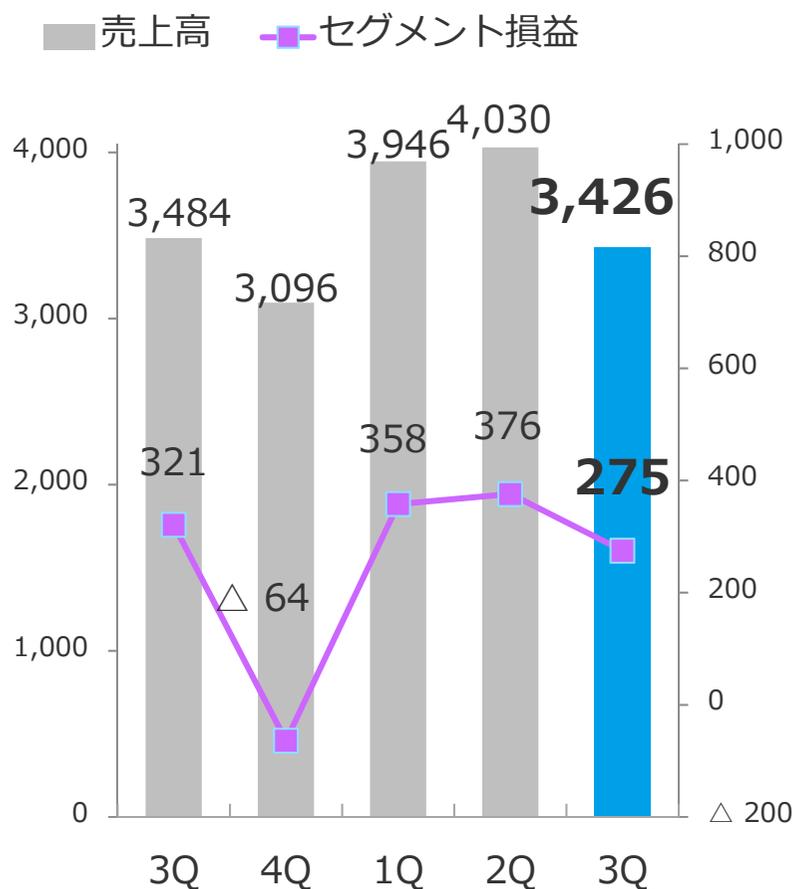


前年同期比 売上高1.9%増、セグメント利益11.7%増

FSGの独自プロダクト「ADMATRIX DSP」「afb」の事業拡張が収益に貢献

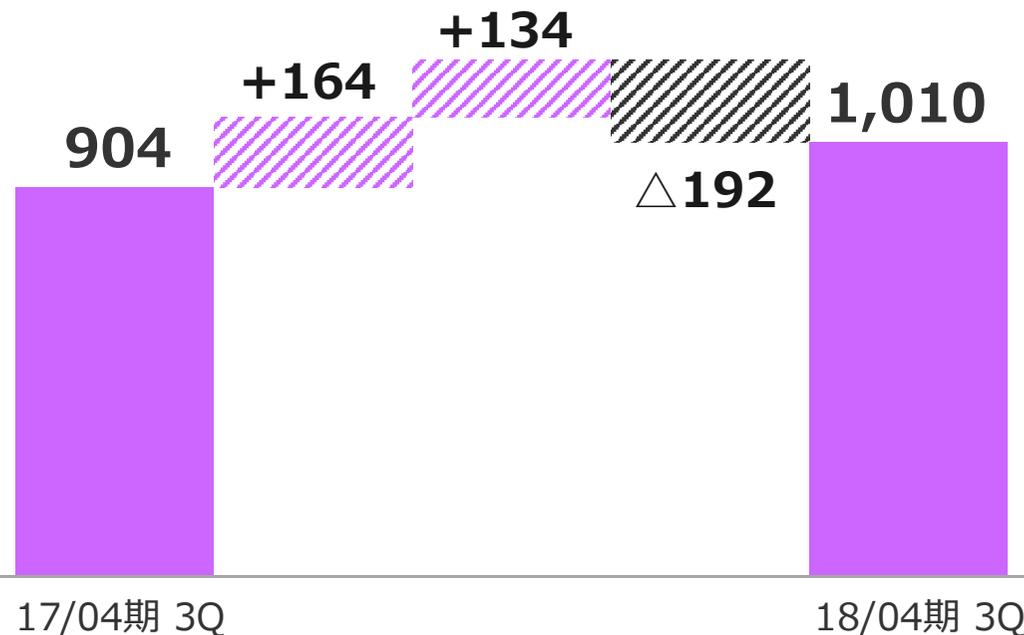
(単位：百万円)

売上高・セグメント損益



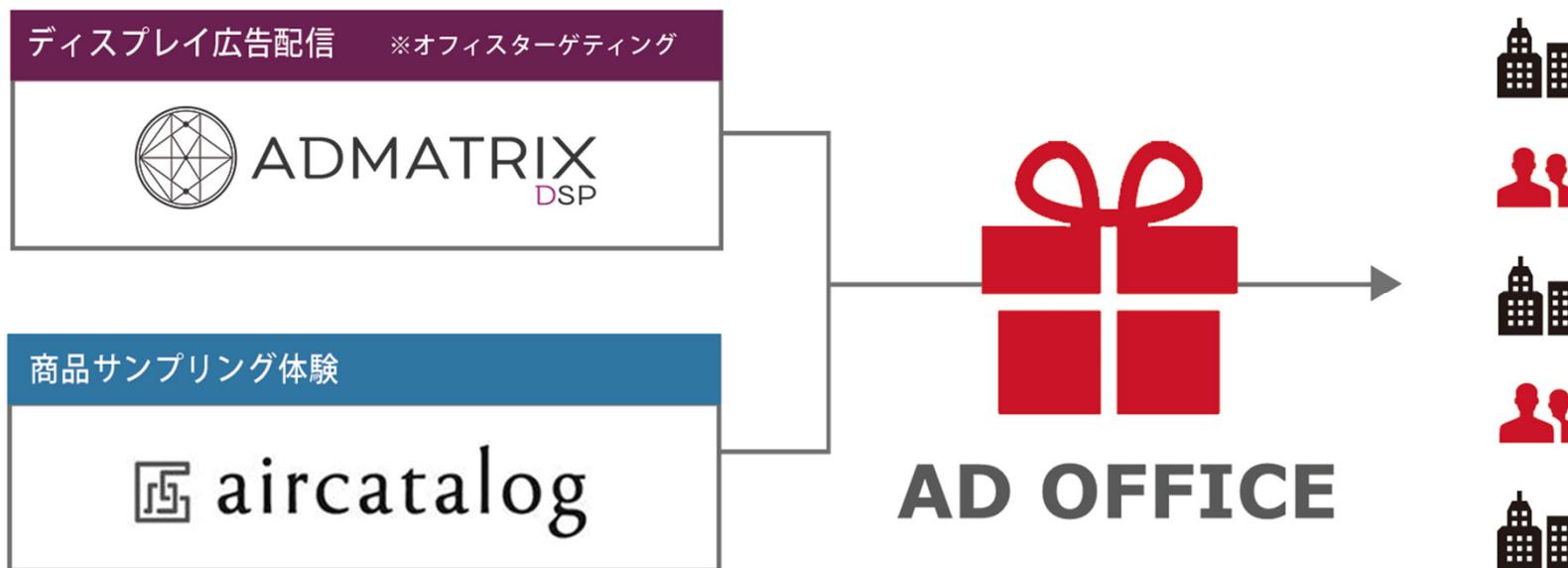
セグメント損益前年同期比差異分析

- +164 FSG売上増加に伴う粗利増
- +134 FSG貸倒引当金繰入額減少による利益増
- △192 FSG販売管理費増等による利益減



キャトル社とメディアミックス型サンプリングプロモーションを開始

特定オフィスの従業員にデジタル広告と商品サンプル提供をする体験誘導型プロモーションを実現



商品サンプリングサービスを提供するquatre株式会社と提携し、ADMATRIX DSPの「オフィスターゲティング」と商品サンプル提供を組み合わせた体験誘導型のメディアミックスプロモーション「AD OFFICE」を開始

アフィリエイト・プラットフォーム「afb」の継続的な事業拡大

アフィリエイトとの親和性が高い台湾への事業拡大、2018年4月 台湾支社設立予定

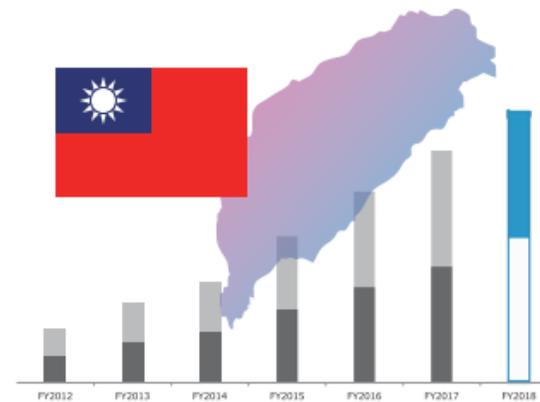


利用者満足度率 3年連続 No.1 ※

成果報酬型のアフィリエイト・プラットフォーム

2017年6月より台湾での新サービスを提供中。

※「第16回アフィリエイトカンファレンス」の「アフィリエイト・プログラムに関する意識調査2017」における利用者満足度



現地メディアへの広告出稿数も増加中

今後の事業戦略 next stage

Overseas

<海外展開>



2018.04 台湾支社 設立予定

Technology

<テクノロジー連携強化>

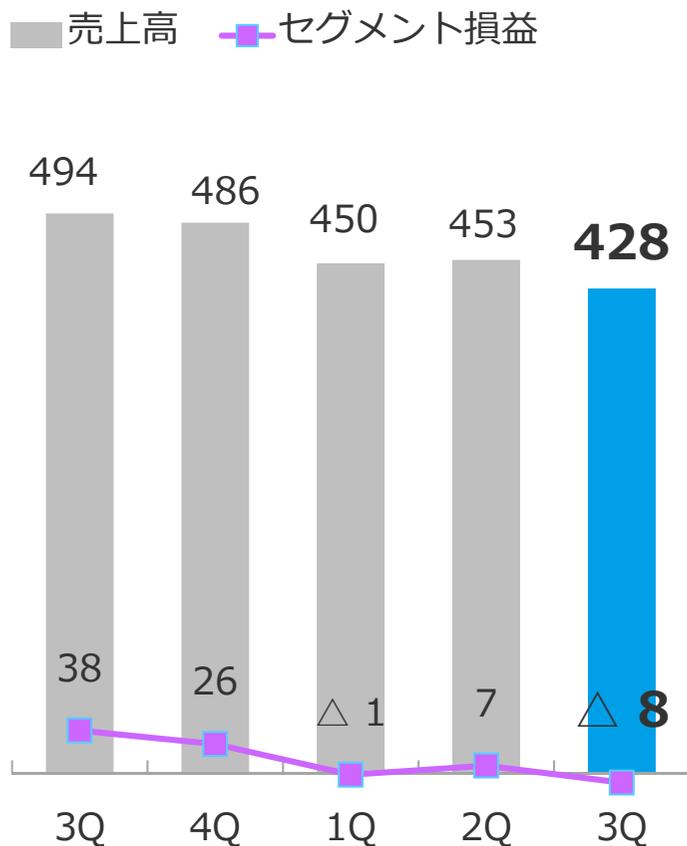
Genre

<ジャンル拡大>

ギガプライズのESP吸収合併に伴う按分費用が増加

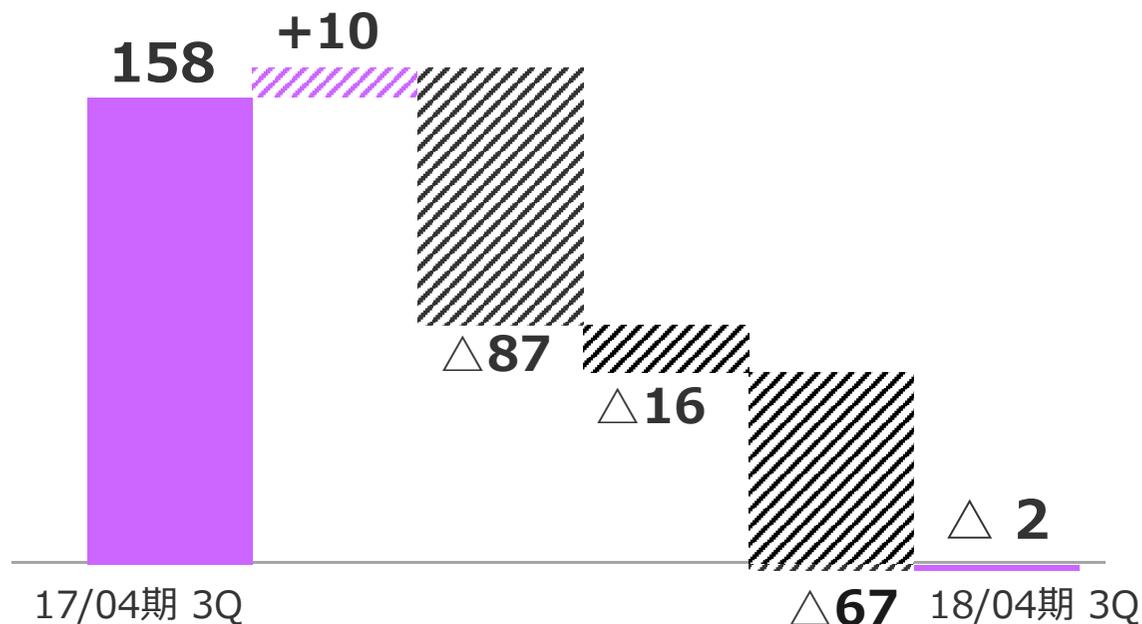
(単位：百万円)

売上高・セグメント損益



セグメント損益前年同期比差異分析

- +10 コストカットによる利益増等
- △87 取引先サービス終了に伴う利益減
- △16 新規サービス開始にかかる費用増
- △67 ESPの吸収合併に伴う按分率変更による費用増

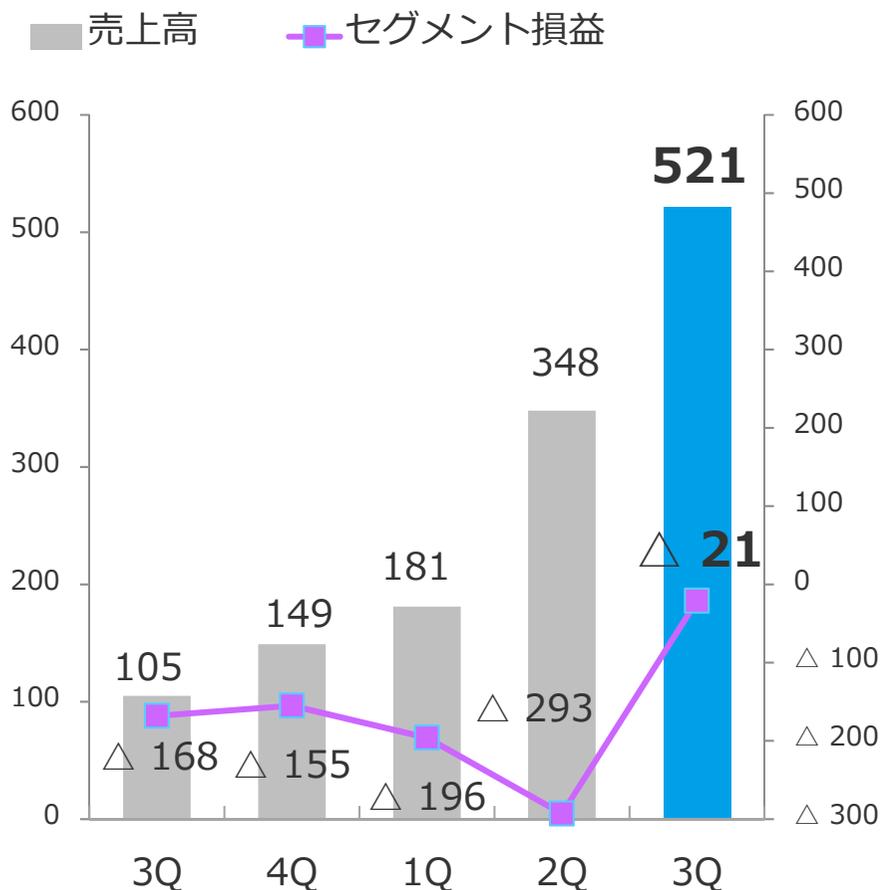


事業開始以降売上高は順調に推移。フリービットEPARKヘルスケアは当連結会計期間(3Q)において黒字化を達成

さらなる売上拡大に向けて、サービス拡充及び体制強化へ投資を実行中

(単位：百万円)

売上高・セグメント損益



※事業開始が前第3四半期のため、前年同期（累計）との比較は省略

EPARKお薬手帳は累計ダウンロード数21万件を突破



EPARKお薬手帳

薬局の受取予約・服用アラーム・お薬情報の登録など便利な機能がすべて無料で利用できるアプリ

- ・薬局での待ち時間を解消
- ・アプリから処方せんを簡単送信
- ・お薬の飲み忘れを防ぐ服用アラーム
- ・QRコードや写真保存でお薬情報もラクラク記録

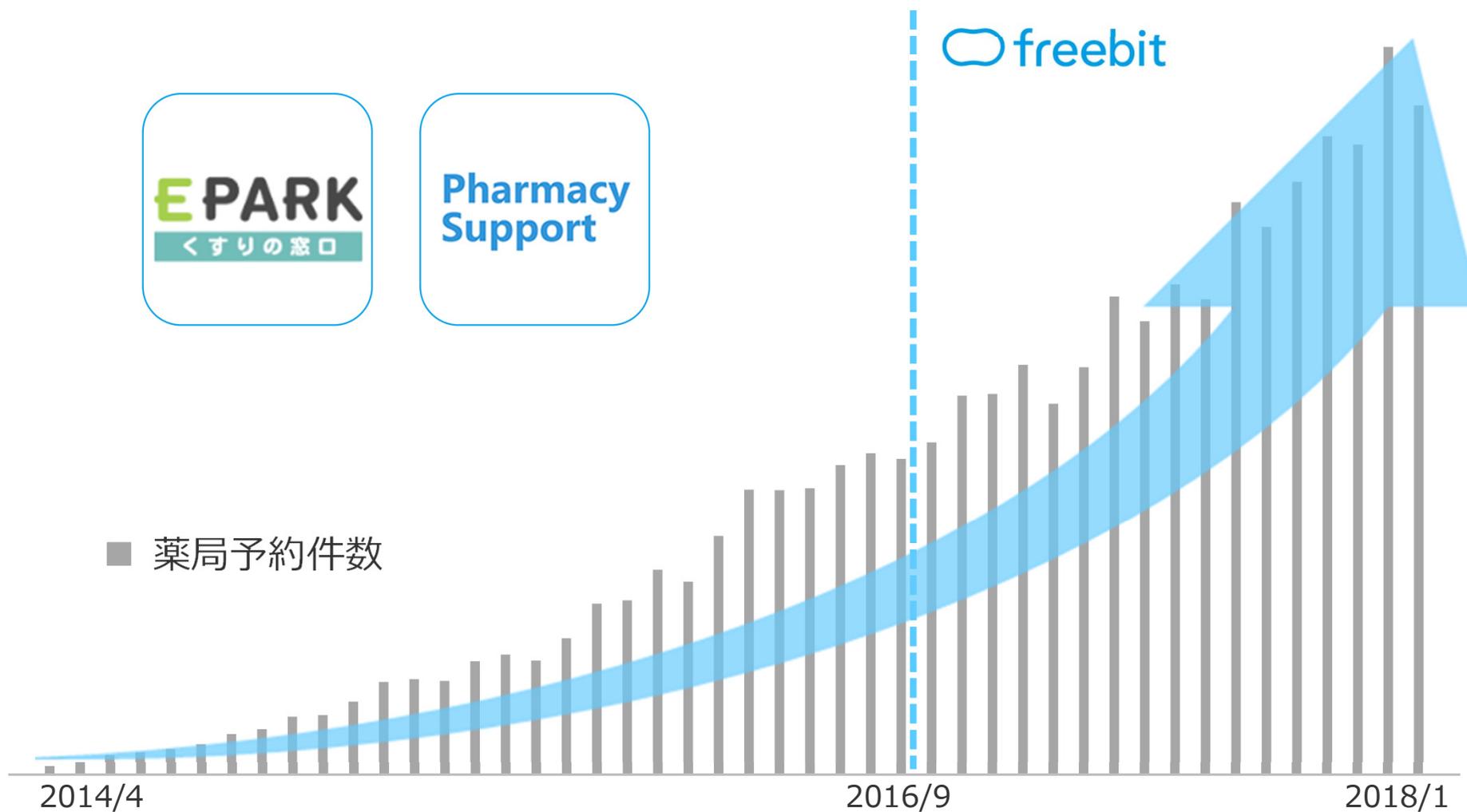
21万超

■ 累計ダウンロード数

2017/1

2018/1

月間薬局予約件数は順調に推移



3. 2018年4月期 連結業績進捗

ブロードバンド事業

マンションインターネットの提供戸数増加と更なる売上拡大

- ・提供戸数、売上とも順調に拡大
 - ・不動産関連事業の拡大及びIoT等のテクノロジーを差別化要因にしたサービス開発の実行
- ### 個人向けサービスのユーザー数拡大施策による売上・利益の増加
- ・「光コラボ」サービスのドコモ光、DTI光の獲得強化施策の継続

モバイル事業

OEMの推進と個人ユーザーの積極的な獲得によるシェア拡大

- ・カメラ監視LTEパッケージ販売会社向けにデータ専用SIMの提供開始
- ・「DTI SIM」の新プラン投入

収益に寄与するIP電話サービスのさらなる拡充

付加価値サービスの事業化

- ・働き方改革実現の一助となるスマートフォン+IPビジネスフォン「モバビジ」の拡販

アドテクノロジー事業

代理店数の増加及び連携強化による顧客拡大

- ・「ADMATRIX DSP」等の強化を目的とした他社サービスとの連携促進

アフィリエイト・プラットフォーム「afb」の継続的な事業拡大

- ・12月に福岡営業所を開設。2018年4月に台湾支社設立予定

クラウド事業

クラウドサービスの拡充と拡販

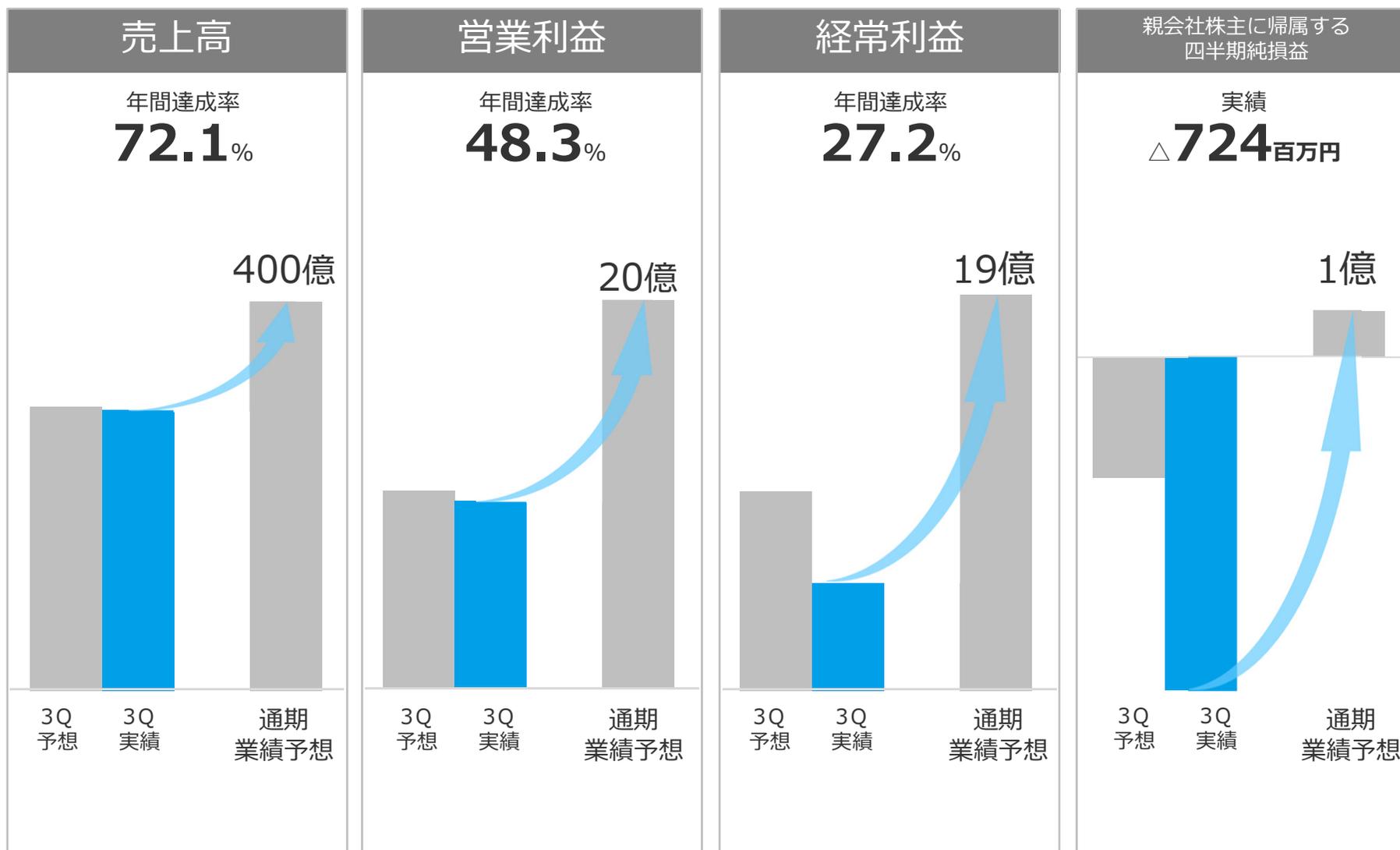
- ・クラウド型見守りサービス「五感箱 ~SensorCube~」の新機能『SensorCubeクラウド連携サービス』を提供開始

ヘルステック事業

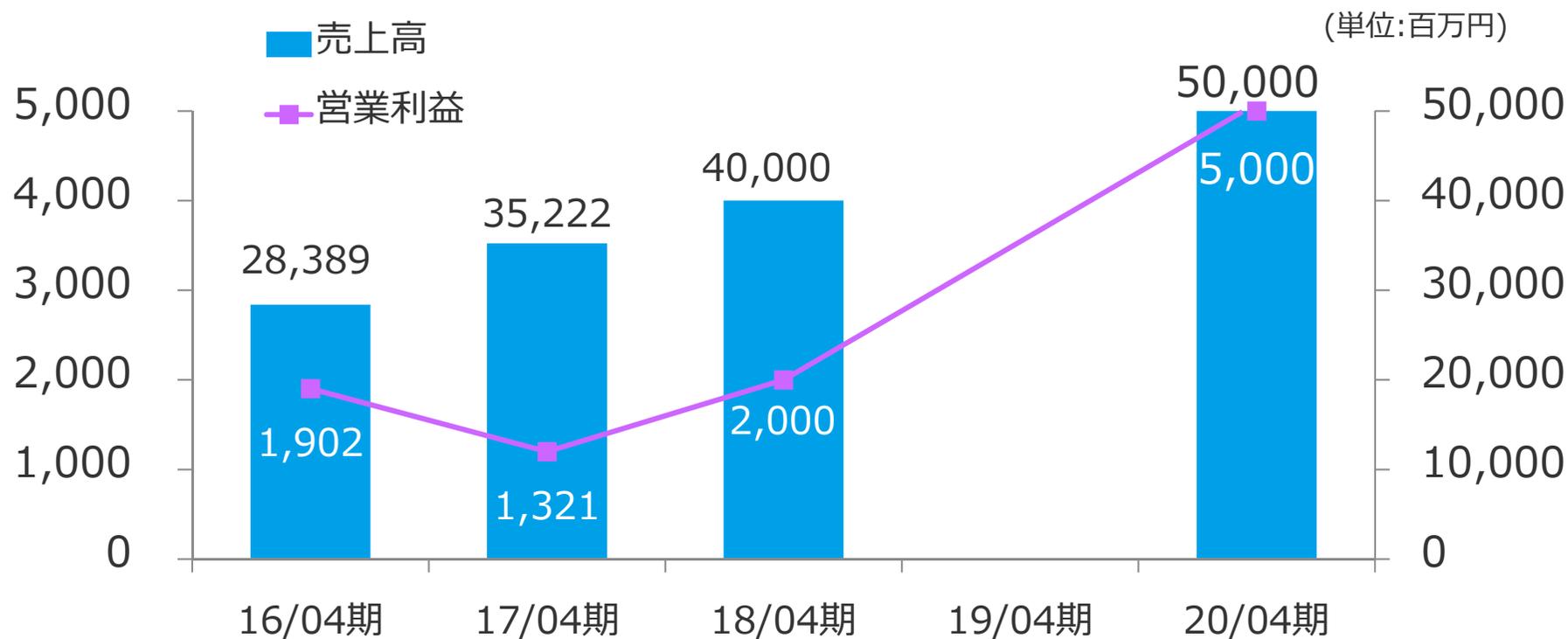
フリービットEPARKヘルスケアの下期黒字化

- ・フリービットEPARKヘルスケアは、集客数及び提携薬局数の順調な増加により、当連結会計期間(3Q)の単月黒字化達成。下半期は黒字となる見通し
- ・医療情報基盤のリソースを活かしたサービスラインアップの拡充に注力

注力事業であるヘルステック事業への先行投資を実行
売上高及び営業利益はほぼ計画通り進捗



フリービットグループ 2020年4月期業績目標 連結売上高**500億円**・連結営業利益**50億円**企業を目指す



本資料に記載されている当社の予想、見通し、目標、計画、戦略等の将来に関する記述は、本資料作成の時点で当社が合理的であると判断する情報に基づき、一定の前提（仮定）を用いており、種々の要因により、実際の業績はこれらの予想・目標等と大きく異なる可能性があります。本資料は、当社の事業戦略の説明資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

■ 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、サービスの多様化による実態の変化に合わせ、ブロードバンド事業及びアドテクノロジー事業と区分していた売上及び費用の一部をモバイル事業に、ブロードバンド事業と区分していた売上及び費用の一部をクラウド事業に区分変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は当第3四半期連結累計期間の区分に基づき作成したものを開示しております。

＜IR及び本資料に関するお問い合わせ＞

フリービット株式会社
グループ経営管理本部 IR担当
Email freebit-ir@freebit.net
WEB <http://freebit.com/>



毎日、発明する会社

※ すべてのブランド、製品名、会社名、商標、サービスマークは各社に権利が帰属します。